

一般公開が始まった作品と青木さん(高崎市)



街・人 Town & people

ぐんま

ピカソやロダン作品 公開

榛名美術記念公園 飲料会社創業者が収集

飲料製造のハルナビバレツジ創業者で、同社名誉会長の青木清志さん(87)が収集した美術作品を展示する「榛名美術記念公園」(高崎市下室田町)の一般公開が始まった。以前は社員に限定していたが「多くの人に見てもらい、美術品が持つエネルギーを分かち合いたい」との思いで2年かけて準備をした。

「美術の館」と「彫刻の館」で構成している同施設は、青木さんが居住していた建物や庭を改装した。美術の館にはピカソのリトグ

ラフ「麦わら帽子のマリアテレサ」、「ドン・キホーテとサンチョパンサ」やオーギュスト・ロダンの彫刻「鼻のつぶれた男」などの33点が展示されている。彫刻の館にはギリシャ神話のゼウスをモチーフにした真っ白な大理石像が置かれている。

青木さんは、貿易会社を経て同社を62歳で創業。業界では「最後発」とも言われたが、日本たばこ産業(JT)から受託した「桃の天然水」では、小型ペットボトルを導入してヒット商品にし

た。時代を先読みする経営で業績を伸ばしてきた。

同社は来年25周年を迎え、青木さんは区切りとして同年6月に経営から勇退する。一般社団法人「榛名美術」の代表理事として、芸術振興に力を注ぐ方針だ。青木さんは「美術品により感性が磨かれ、多くの人の原動力になれば」と話している。入場無料。開館時間は午前11時〜午後5時、日、月曜休館。予約制で、問い合わせは同公園(027・374・8084)へ。